

NEW Polo

日本でも多くの人に愛されてきたジャーマン・コンパクトカー、フォルクスワーゲン（VW）ポロが一段と進化して登場。直線基調で立体感のあるスタイルはそのままに、新世代 VW のデザインコンセプトを上手くとり入れて凛々しさがアップ。インテリアはクオリティ感をより高め、プレミアムコンパクトと呼んでもいいレベルまで達している。パワートレインも磨きがかけれ、ブラッシュアップされたエンジンと高効率の7速DSG、ブレーキエネルギー回生システムによりJC08モード燃費22.2km/ℓを実現。さらに先進の安全システムを惜しげもなく採用してクラス最高レベルの安全性を確保。コンパクトカーの域を超えた剛性感と操縦性、ワンランク上のクオリティを与えられた新型ポロの魅力に迫ってみよう。

クルマと楽しむ チョッと気持ちのいい生活



フラットなフロアで荷物の出し入れもラクラク



ゴルフと同タイプのステアリングホイールやメータークラスターを採用



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門ビルディング5階503号
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

Volkswagen

New Polo

特集号

JC08モード燃費	エコカー減税対象車
22.2 km/ℓ	自動車取得税 80% 軽減 自動車重量税 75% 軽減



サンセットレッドメタリック(6K)



リフレックスシルバーメタリック(8E)



トフィーブラウンメタリック(4Q)



ピュアホワイト(0Q)



フラッシュレッド(D8)



コーンフラワーブルー(D7)



ディーブラックパールエフェクト(2T)

ポロの歴史



初代モデルの登場は1975年とゴルフと変わらぬ歴史を持ち、全世界で1400万台以上が販売された実績を持つポロ。2010年のワールドカー・オブ・ザ・イヤーをはじめ多くのプライズを受賞し、そのパフォーマンスとクオリティは世界で認められている。日本でも1988年の上陸以来、累計販売22万台とたくさんの人に愛され、コンパクトカーのベンチマークとして多くのクルマの手本となってきた。一方で高性能版のポロGTIをベースとしたラリーカー、ポロR WRCがWRC(世界ラリー選手権)を制覇するなど、多彩なプロフィールを持っている。



オリックスホワイト マザーオブパールエフェクト(0R)*
*(受注生産(有償オプション))

ラインアップと今後のバリエーション



新型ポロは基本モデルとなるTSIコンフォートラインと、より装備を充実させたTSIコンフォートライン・アップグレードパッケージの2グレードを設定。搭載エンジン、先進安全性能など基本部分は両グレードとも共通だが、アップグレードパッケージはフルオートエアコン、パドルシフト、リアビューカメラ、アダプティブクルーズコントロール、6J×15アルミホイールなどを標準装備している。また、新型ポロをベースとした「ポロブルーGT」と「クロスポロ」が今秋以降に追加導入される予定だ。



TSI Comfortline



Upgrade 内装



TSI Comfortline Upgrade Package

NEW Polo 主要諸元表	TSI Comfortline BLUE MOTION TECHNOLOGY		TSI Comfortline Upgrade Package BLUE MOTION TECHNOLOGY
仕様	FF 右ハンドル 4ドア		
トランスミッション	7速DSG(自動変速機)		
全長×全幅×全高(mm)	3,995×1,685×1,460		
ホイールベース(mm)	2,470		
トレッド 前/後(mm)	1,460/1,450		1,455/1,445
最低地上高(mm)	130		
車両重量(kg)	1,130		
乗車定員(名)	5		
最小回転半径(m)	4.9		
JC08モード燃費(km/ℓ)	22.2		
エンジン型式	CJZ		
種類	直列4気筒DOHCインタークーラー付ターボ(4バルブ)		
総排気量(cc)	1,197		
最高出力(kW(PS)/rpm)	66<90>/4,400-5,400		
最大トルク(N・m(kgf・m)/rpm)	160<16.3>/1,400-3,500		
燃料タンク容量(ℓ)	45		
使用燃料	無鉛プレミアムガソリン		
サスペンション 前/後	マクファーソンストラット(スタビライザー付)/トーションアーム		
ブレーキ形式 前/後	ベンチレーテッドディスク/ディスク		
タイヤ	185/60R15		

オプション装着などによって、一部数字が変わります。詳しくは販売店にお問い合わせください。



心地よさと機能性が同居する空間。

ユーティリティ ～使いやすいコンパクトボディ～

全長 3995mm、全幅 1685mm と日本の 5 ナンバー枠に収まるコンパクトボディながら、2470mm のホイールベースが貢献して室内の余裕度は高く、前席シートのロングスライドレールによりフレキシビリティに富んだパッケージングとなっている。2 人乗車では前席をゆったりと使用することができ、後席もシート座面がしっかり確保されていることで大人の 4 人乗車も苦にならない。後席シートバックは 6 : 4 の分割可倒式となっており、倒せば最大 952ℓ のフラットな収納スペースを得ることができる。さらに大型ペットボトルも置けるドアポケットや、カップホルダーなども充実。荷物を積んで長距離を移動することの多いヨーロッパで鍛えられた優れたユーティリティを満喫できる。

エクステリア& インテリアデザイン

受け継がれた直線基調のフォルムに加え、リファインされたフロントグリル、前後バンパー、ヘッドライトとテールライトが新世代フォルクスワーゲンに共通する精悍さを演出。コンパクトカーながら上級車種に負けない存在感を醸し出している。張り出したホイールアーチは足がしっかり地に着いたシルエットを強調し、走っているときはもちろん、止まっているときでも「走りのよさ」を予感させる。よりクオリティ感の増したインテリアも見逃せない。D シェイプのステアリングホイールはスポーティ感を高めると同時に操作感も向上させている。上級車種であるゴルフと同タイプのメータークラスターは、視認性を確保するとともに、シフトレバーやメーター周り、ドアトリムなどに配されたクローム素材が一段と質感を高めている。しっかりと身体を受け止めてくれる剛性感の高いシートはコンパクトカーを運転していることを忘れさせるほどの仕上がりだ。

新世代のインフォティメントシステム

先進のインフォティメントシステムも新型ポロの特筆すべきポイントだ。6.5 インチのディスプレイを備えた「コンポジション・メディア」はタッチスクリーン操作が可能で、ラジオや MP3 対応のオーディオだけでなく、ハンズフリーフォンなどのメディアにも対応。ミラーリンクにも対応しているので、スマートフォンのアプリをディスプレイ上で操作することもできる。また、純正ナビゲーションシステム「714SDCW」を装着すれば ITS スポット対応の DSRC システムを駆使して最新の交通情報によるルート探索なども可能。最新の音声認識技術「インテリジェント・ボイス」にも対応しており、安全かつ効率的なドライビングで目的地を目指すことができる。



基本デザインは踏襲しながら、テールランプなど一部変更で高級感を演出



狭い路地でもスイスイと



コックピット



安全性に配慮した後席シート



6:4分割可倒式シート



使いやすいラゲージルーム



メイクアップミラー



純正インフォティメントシステム



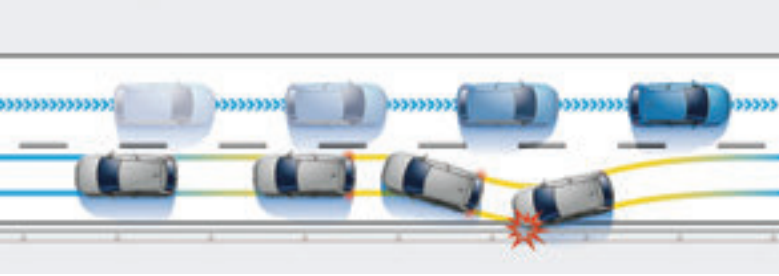
スマホ感覚の純正ナビ

先進安全装備

新型ポロ最大の注目ポイントがクラス最高水準の先進安全性能だ。ミリ波レーダーを使った「フロントアシストプラス」は、前方を走るクルマとの距離を常に監視し、衝突の危険を察知した場合はブレーキ圧を高めて制動距離の短縮化を図り、警告音と警告灯で注意を喚起。それでもドライバーの操作がない場合には自動ブレーキによる減速も行う。さらに 30km/h 未満ではシティアメーゼンシーブレーキにより衝突被害を軽減させる機能も備えている。万一、衝突などでエアバッグセンサーが働いた場合には自動で車速を 10km/h 以下まで減速させる「マルチコリジョンブレーキシステム」が作動し、事故時の 2 次被害を軽減。一方で「ドライバー疲労検知システム」は運転者のステアリング入力や切れ角を監視し、居眠りなどを思わせる状況になるとメーター間のインジケータ表示および警告音で注意をうながしてくれる。新型ポロではこうした安全装備を全車に標準装備し、万全のセーフティバリアで乗員を守っている。また、アダプティブクルーズコントロール (ACC) が装備されていれば、前述のレーダーとクルーズコントロールとの連携により自動で車間距離を一定に保ち、スムーズかつ快適な長距離走行を約束してくれる。



ACCイメージ



マルチコリジョンブレーキシステムのイメージ



ドライバー疲労検知システムで休憩を促す

コンパクトなボディにたくさんの魅力がつまった New Polo は、どんな時でもあなたを力強くサポートする頼もしいパートナー。

その他安全装置 ～高剛性ボディ、6エアバックなど～

VW 独自のレーザー溶接技術、超高張力鋼板の採用によりコンパクトカーの域を超えた高剛性ボディを実現したポロ。その剛性の高さはドアを開け閉めただけで分かる。このボディが高い操縦安定性と乗り心地、静粛性に貢献しているのに加え、万一の事故時にはキャビンの空間を保持して安全性を確保。さらにサイド＆カーテンエアバッグを含めた 6 個のエアバッグによる乗員保護性能も抜かりはない。滑りやすい路面などで横滑りを防ぐ ESP、高速走行時に急ブレーキを踏むとブレーキランプ点滅→ハザード点灯を自動的に行うエマージェンシーストップシグナルも装備。全方向の安全装備により乗員をしっかり守ってくれる。



エアバッグ



ESP-DSRイメージ



エマージェンシーストップシグナル



レーンセンサー

走りと低燃費を両立するパワートレイン

1.2ℓ TSI ターボエンジンは 4 バルブ DOHC へ進化すると同時に、アルミブロックの採用などで軽量コンパクト化が図られている。パーツの小型化など細部もリファインされ、効率を高めることで燃費も向上。組み合わせられる 7 速 DSG はツインクラッチ機構によりシフトチェンジが 0.03 秒と切れ目なく滑らかな加減速を実現し、ドライバビリティを向上させるとともに燃費向上にも貢献している。さらにスタートストップシステム (アイドリングストップ機構) およびブレーキエネルギー回生システムによりエネルギー利用効率を高め、ここでも燃料消費を削減。その結果 JC08 モード燃費は 22.2km/ℓ と従来モデルを上回り、全車がエコカー減税の対象となっている。アクセルを踏んだ瞬間から 1.2 ℓ とは思えないトルク感を味わうことができ、街中から高速走行までスポーティなキビキビした走りを楽しみながらも低燃費。ただのコンパクトカーではないことを実感できる。



1.2ℓTSIターボエンジン



JC08モード燃費	エコカー減税対象車
22.2 km/ℓ	自動車取得税 80% 軽減 自動車重量税 75% 軽減



スタートストップイメージ



回生イメージ

快適なドライブの楽しさを、
全ての人に。



TSI Comfortline

ポロの魅力

フォルクスワーゲン グループ ジャパン
代表取締役社長

庄司 茂さん

世代を超えたお客様にそれぞれチョッといい生活を満喫していただきたいと考えていますが、そのなかでも 30代から 40代の女性に対して、輸入車の魅力を訴えていきたいと思います。ひとクラス上のゴルフの最新技術を搭載し、まるで小さいゴルフに乗っているような乗り心地を感じていただけるのではないのでしょうか。店頭で気軽に乗っていただくことで、新型ポロのクオリティを感じてほしい。お仕事でもプライベートでもそれぞれ自分の生活を楽しんでいただけると信じています。

